

ANIC info



Association for
Nakano
International
Communications

中野区国際交流協会

2016
August

「ことば」から広がる世界 ～ ANIC の通訳・翻訳ボランティア

ANIC 通訳・翻訳ボランティアに聞く

「2020 年に向けてできること」～語学上達のために他
イベントレポート 「湯島・本郷めぐり」

～東大ツアー & 湯島天神例大祭を巡る～

国際理解講座「ラオスと図書館」

フランス家庭料理講習会

イーストウエスト日本語学校 来訪

お知らせ 公開日本語スピーチ「やったね!の会」(夏休み子ども日本語クラス)
地域国際交流カフェ
日本語講座等教室の一時移転



Welcome
to
あにっく



「ことば」から広がる世界

ANICの通訳・ 翻訳ボランティア

通訳・翻訳ボランティア について教えて！

現在は、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、フランス語、フィリピン語など15言語に対応しています

のべ160名の方が登録しています

登録にあたっては、特に基準はありませんが、経歴をうかがっています



どんな活動があるの？

「外国人のための専門家相談会」で
相談者と専門家の通訳をします

ニュージーランドとの子ども交流のサポート

学校等への派遣

伝統工芸展での通訳

アール・ブリュットの展示翻訳

総合防災訓練での翻訳作業

東京でのオリンピック・パラリンピックの開催決定、近年の訪日外国人観光客の増加に、新たに言語を習得しよう、さらに磨きをかけよう、異なる文化を知ろう、と関心を持つ方が増えているようです。

中野区に住民登録する外国籍の方も増加、その構成も多様化が進んでいます。このようななか、通訳・翻訳ボランティアを依頼したい、あるいはやってみたいという声が増えつつ広がることが予想されます。今号では、伝統工芸展、専門家相談会にご協力いただいた方へのアンケート、インタビューを中心に、「通訳・翻訳ボランティア」を特集します。

通訳ボランティアが大活躍 「外国人のための専門家相談会」

日本語が十分に理解できない、日本の法律や制度、習慣を知らない外国の方をサポートするために、ANICでは、毎年「外国人のための専門家相談会」を行っています。6月11日に行われた相談会では、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、フィリピン語、やさしい日本語、計16名の通訳ボランティアの方々にご協力いただき、教育やビザの問題などの相談で通訳をしていただきました。

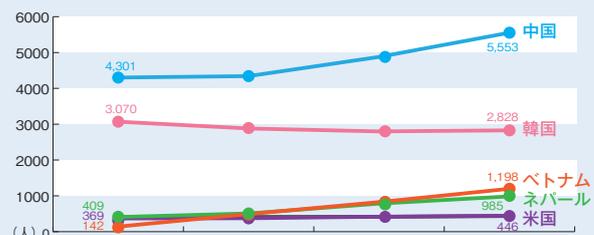
専門家相談会では何が大切なのでしょう？アンケートでは「担当言語をよく理解していること」、「文化や習慣、事情にも通じていること」、「相談者の言いたいことを正確に把握し、わかりやすく表現すること」があげられました。具体的な解決策に結びつけていくために、「相談者の置かれた状況を理解しながらも、気持ちに左右されずに正確に伝えること」に皆さん苦心されているそうです。

相談での通訳は、グループで企画・運営をするボランティアと異なり、ひとりでの作業が基本となります。相談者が感情や苦しさを吐露する場面に居合わせることにもなります。しかしながら、思いつめた表情で相談に見えた方が、「専門

外国にルーツを持つ定住者は増えている



より多様な人口構成に



(「中野区統計書2016」をもとに作成)



専門家、通訳ボランティアの協力のもと行われる相談会

家の方の実務だけにとどまらない親身なアドバイスを受け、表情が少し和らいだ」のを目にしたとき、「生きる望みを持た」と聞いたとき、「やってきてよかった!」「自分が海外で受けた恩返しができる」と喜びもあるのだといいます。だからのために役立っている、という思いが通訳・翻訳ボランティアのみなさんを支えているようです。

日本の伝統工芸を紹介 ～伝統工芸展での通訳

6月3日～5日の3日間行われた「中野区伝統工芸展」(於：産業振興センター、主催：中野区伝統工芸保存会)。保存会の依頼により、ANICから、英語の通訳ボランティア6名が

派遣されました。今後、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、定住外国人や外国人観光客のさらなる増加が見込まれるなか、さまざまな分野で通訳・翻訳ボランティアの方々の活躍の場が広がることが期待されます。伝統工芸展での通訳事業は、新たな施策として先陣を切って行われています。



左：大木 賢二さん/右：北爪 裕子さん
6月3日 産業振興センター

日本語学習者からボランティアへ

今回の専門家相談会では、ANIC日本語講座出身の小野寺和幸さん、誓さんのご兄弟がフィリピン語の通訳としてご協力いただきました。おふたりは日本人の父とフィリピン人の母を持ち、小学校時代から高校時代までのほとんどをフィリピンで過ごしました。高校卒業後、和幸さんは、日本へ。その一年後、誓さんも日本にやってきました。

日本で初めて就いたアルバイト先は、フィリピン人ばかりの職場。日本語が上達することはなく、父の勧めで日本人ばかりの電気施工会社に社員として転職。「言葉や仕事上の技術だけでなく、日本のマナーやルールを周囲の方から教えられた」そうです。しかし、この職場で得た

最大の収穫は、「日本語、フィリピン語、英語の3か国語も話せるのに、もったいない!」と言われたこと。3つの言語を話すこと、日比それぞれの文化を知っていること、それが自分たちの強みなのだ気づいたそうです。

現在、ふたりはそれぞれの道を進もうとしています。自分たちの強みを活かす形で、具体的に浮かんできた夢に向かって、まずは日本語能力試験合格のために、さらなる勉強を続けています。「日本語を習得するには、やる気と時間が必要」。「長時間働いて時間がない、仕事で疲れてやる気がそがれるとき、勉強するのはたいへん」と口をそろえます。しかし、「『外国人』だからわからなくても仕方ないよ」と言われると、自分たちはまだまだ勉強が

足りないと感じるそうです。ふたりが、強い意志を持って、スキルを磨き、自らをさらに輝かせることができるよう、応援したいと思います。



左：兄の小野寺 和幸さん/右：弟の小野寺 誓さん

同じ人間として共感する

木村光夫さんには10年以上にわたり、英語、スペイン語、ポルトガル語の通訳・翻訳ボランティアとしてご協力いただいています。

今でこそ、日本語のほかに3か国語を操る木村さんですが、中学、高校生時代は、英語を話すことはできず、自信もなかったそうです。考えが変わったきっかけは、大学生時代の中学生に英語を教える家庭教師にありました。中学生の教科書を一から学びなおすなかで、受験や試験のためではなく、「学ぶ」ことの楽しさに目覚め、がぜん興味が湧いたそうです。

その後勤務先で、英語を勉強する機会や事業経験を積み、さらに、アルゼンチン、ブラジルへの転勤を経て、スペイン語、ポ

ルトガル語に精通するようになりました。「ブラジルで、日系二世の方や会社の方が面倒を見てくれて、とても助かった」経験から、日本にきている外国の方も困っているのではないかと、自分が受けたものをお返ししたい、との思いでANICの通訳・翻訳ボランティアに登録、相談会や外国にルーツを持つ小学生の教育支援などで活躍されています。

木村さんが大切にしていることは、「言葉をそのまま訳すだけでなく、気持ちも伝えること」。専門家相談会でも、相談内容を的確に把握するだけでなく、「どんなことで困っているのか、どんな気持ちでいるのかも専門家に伝えたい」と考えているとのこと。通訳した方から「仲間がいるようだ、安心する」と言われたのは、そうした

木村さんの心情が伝わってのことなのでしょう。信頼を得ることで、より深く話を聞き出すこともできます。感情に流されず、しかし、心を開いて接すること。舵取りの難しいところですが、木村さんのお話をうかがい、改めて大切にしたいと感じました。



木村 光夫さん

ひとりひとりを大切に

言いたいことがあるのに、うまく話すことができない。日本語ができない、それだけで一人前に扱われない。そのような思いを抱えている人のために、何ができるのでしょうか。ANICでは、専門家相談会のほかに、依頼に応じた通訳派遣、日本語講座、相互理解を進めるための市民交流事業とさまざまなサポート事業を展開しています。ことばの壁を乗り越えるにはまず、どの人にも、母国での経験やキャリア、さらに豊かな内面世界があることを忘れず、ひとりひとりを大切に思う意識が広がることが必要なのではないのでしょうか。「ひとりひとりを大切に」。ANICに関わるボランティアの方々の活動を通して、その心が広がるよう様々な企画を進めていきます。



相手を知る、 自分を見つめなおす

知識を得る

「言葉のみならず、知識の面も広くなる」
 「国際ニュースなどで情報収集」
 「歴史、民族紛争、食文化など幅広く知る」
 「ターゲットの言語を磨くことはもちろんですが、同時に日本語を良く知ることも大切だと思います。日本語についての本はいまたくさん出ています。」

外から見る

「外国人による旅行記を読んでみる」
 ・マシュー・アムスター＝バートン（著）
 関根光宏（訳）
 『米国人一家、おいしい東京を食べ尽くす』
 ・オーサ・イエークストロム
 『北欧女子オーサが見つけた日本の不思議』

母語とは、ことばとはなにか を考え、自分を見つめなおす

- ・多和田葉子『エクソフォニー 母語の外へ出る旅』
- ・温又柔『台湾生まれ 日本語育ち』
- ・リービ英雄の著作
- ・楊逸（ヤンイー）の著作
- ・ジュンパ・ラヒリ『べつの言葉で』

お知らせ

おもてなし 語学ボランティア育成講座

2020年オリンピックに向けて、「おもてなし」の心を身に付けるため、外国人とのコミュニケーションに関する基礎知識や異文化理解等について学習します。

日 時 / 9月7日(水) 14:00 ~ 17:30

会 場 / なかのZERO西館

参加費 / 無料

定 員 / 60名(定員を超えた場合は、抽選。)

対 象 / 区内在住・在勤・在学の方で、実用英語技能検定2級以上、TOEIC500点以上に相当する語学力のある方、または英語による簡単な日常会話ができる方 ※すでに受講した方は応募できません。

申 込 / 往復はがきに①講座名②住所③氏名(ふりがな)④電話番号あるいはメールアドレス等連絡先⑤在勤、在学の方は勤務先名または学校名(返信用にも②③)を記入のうえ、お申込みください。8月10日必着。

2020年 に向けて できること

ANIC通訳・翻訳ボランティアに聞く

語学上達のために

なんと言っても 毎日接すること!

おすすめのツール

- ・ラジオ講座
- ・インターネットニュースやCSの海外放送
- ・YouTubeの動画
- ・字幕付きの映画やテレビ番組
「好きな映画を字幕あり、字幕なしなどで何回も何回も見る」
「無料で映画やドラマのスク립トを得られるサイトもある。」
- ・好きな洋楽を歌う。
- ・原書を読んでみる。
(童話やマンガ、雑誌もおすすめ)
- ・無料のポッドキャスト
英語だけでなくさまざまな言語を学べる。
「ESL (English as a Second Language)は初心者におすすめ」
- ・アプリ
「マイナー言語も学べる『50カ国語』、クイズ形式で単語の意味やフレーズを覚える『mondly』」

「背伸びせず、おもしろい、気持ちいいと感じる題材を選ぶのがコツ」
 「時々ブラッシュアップのために英語ミュージカル劇のワークショップに参加している」
 「学校での授業をおろそかにしない」

間違いを恐れずどんどん話す

「スカイプを使って、世界のあちこちの『先生』と話す」
 「外国へ旅行する」
 「短期間でも一度は現地を訪れて、現地の人の生活に近い環境で滞在する」
 「その言語を母語とする友人、恋人を持つ」

書く

「稚拙でも日記を書く」
 「Lang-8という、外国語で書いた文章をネイティブが添削してくれるプラットフォームを活用」

番外編

文字やことばばかりが 伝達手段ではありません

「ピクトグラム」という言葉を聞いたことがありますか？
 文字やことばにかわって一目でわかるサインを言います。皆さんは、知っていますか？こんなピクトグラム。



ホテル



祈祷室



コンビニ
エンストア



広域避難所



天井に注意

(公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団HPから抜粋)

イベント / レポート

湯島・本郷めぐり

東大ツアー&湯島天神例大祭を巡る

5月28日(土)に、金曜ボランティアの企画で湯島・本郷周辺を散策しました。参加者は43名で、中国・韓国・ベトナム・台湾の外国の方が参加しました。

コースは、始めに「東京大学」を見学。現役東大院生に案内していただきました。安田講堂、三四郎池などを見学し、安田講堂前にて簡単な自己紹介を一人一人話しました。その後、東大クイズを現役東大生から出題していただきました。答えは、学食での昼食の後のお楽しみでした。学食は皆、興味津々でした。一番多かったのは、赤門ラーメンでした。クイズの景品は、東大ネーム入りのボールペンがプレゼントされました。

次に湯島天神に向いました。丁度例大祭にあたり、たくさんの屋台が出ていてとても賑やかでした。子どもたちの和太鼓の演奏や、子供みこしなど行っていました。最後に今日のお楽しみのお中アイスを参加者の皆さんで食べました。



東大赤門前にて

国際理解講座 ラオスと図書館

6月4日(土)、ラオスの山岳地帯のモン族の村で、図書館づくりに奮闘された安井清子さんを講師に迎え、文字を持たない子どもたちに本の面白さを伝える活動についてお話しいただきました。3ヶ月ぐらいで図書館を完成するつもりで滞在したそうですが、実際は木材を入手するにも、近隣の村に許可

をとって伐採しなければならず、それだけで4か月、完成までに1年以上の時間を費やしたそうです。ラオス国内には50もの民族があり、それぞれの言葉を持っていますが、小学校からラオス語を習い、絵本もラオス語でかかれたものが多いそうです。そのため安井さんの図書館でも、読み聞かせをする大人のスタッフがラオス語を見て、モン語に訳してお話しするそうです。現地では絵本が非常に少ないため、日本でベストセラーになっているような本を訳したものもたくさんおいておくと、子どもたちに変な人気とのこと。図書館が出来てから10年が経ち、新しい本に入れ替えていくなど、図書館をどう維持していくかが新たな課題となっているそうです。日本で暮らしていると、図書館や絵本はとても身近なものですが、視野を広げ自分で物事を判断するための心の糧となっていることを改めて教えられました。



モン族の得意な刺繍で物語を表現する試みも行っている

フランス家庭料理講習会



お母様直伝のメニューを教えてくださいましたベルトランさん (イラストは参加者の大野弘道さん画)

6月24日(金)、フランスの首都パリ出身のピラット・ベルトランさんを講師に迎え、沼袋にある障害者福祉会館で講習会を開催しました。プロバンス風トマトの前菜、チキンとポテトのグラタン、ブルーのデザートのお3品を教えてくださいました。

連続してオープンを使用するので、まず卵と牛乳で作るブルーのデザートを焼き、その間にメインのグラタンの下ごしらえをします。生クリームもチーズも使用せず、乳製品はバターのみというヘルシーなお母様直伝の「僕の家のおさっぱりグラタン」を教えてくださいました。最後には、「エルブ・ド・プロヴァンス」というスパイス・ミックスを使い「ベルシヤード」を作って載せたトマトをフライパンで焼きます。にんにくとエシャロットの辛みにトマトの甘味が際立つ、香り高く美味しい前菜ができました。

フランス料理というイメージがありましたが、教えていただいたレシピは、とても食べやすく健康に配慮したものでした。お母様の深い愛情が感じられました。

イーストウエスト
日本語学校来訪

6月23日(木)、東中野にあるイーストウエスト日本語学校の留学生16名が、ANICにやってきました。地域にはどんな活動があるかを調べ、実際に足を運んで日本語を学ぶ授業の一環で、ひとりひとり質問をし、ANIC職員の答えを熱心に聞きとっていました。地域と積極的に交流を持とうとする留学生の皆さんの姿勢がたいへんうれしく感じられたひとときでした。



今後のさらなる交流を期待して

お知らせ

問合せ

中野区国際交流協会 (ANIC)

TEL : 03-5342-9169 E-mail : anic@nifty.com



公開日本語スピーチ「やったね!の会」

夏休み子ども日本語クラスの最終日に、子どもたちが日本語でスピーチを行います。来日の時期、年齢、日本語の学習期間はそれぞれ異なりますが、夏休みの成果をぜひ見にいらしてください。

日時：8月19日(金)

10:00 ~ 12:00

会場：なかのZERO西館

3階 ANIC 会議室 1



写真：なかのZERO西館(昨年8月)

地域国際交流カフェ

日本語で楽しくおしゃべりしましょう。毎月、鍋横、鷺宮のいずれかで行っています。これまでのカフェの様子、今後の予定は、ホームページから見るすることができます。要参加費。

なべよこ国際カフェ 鍋横区民活動センター

9月10日(土) 14:00~16:00

さぎのみや国際カフェ 鷺宮区民活動センター

10月22日(土) 14:00~16:00

国際交流協会 日本語講座等 教室の一時移転



2016年
10/1
2017年
3/31
(予定)

なかのZERO西館大規模改修工事に伴い、日本語講座等教室を一時移転します。
(事務所は移転しません。)

移転先/中野区産業振興センター
中野区中野 2-13-14 ☎ 03-3380-6946

「やさしいにほんご」で行こう! おけいこ その4 ~仕事と在留資格~

特集記事で紹介したように、「専門家相談会」では、「やさしいにほんご」通訳ボランティアにもご協力いただいています。すべての相談を母語で対応できるよう通訳の方を手配することは、実際問題として困難です。相談者も専門家も理解できる共通言語としての「やさしいにほんご」。今年も希望する相談者の方がいました。

今後も、中野で暮らす外国人住民の増加が見込まれる中、「やさしいにほんご」を上手につかい、コミュニケーションの輪を幾重にも広げていけるといいですね。

●次の文章を、「やさしいにほんご」に訳してみよう

日本に住む外国人の活動は、在留資格によって決められた範囲内に限られます。働いて収入を得る場合、在留資格によってできる仕事とできない仕事があります。自分の在留資格ではできない仕事を希望するときには、あらたに入国管理局で資格外活動の許可を受けなければいけません。

在留手続きに関するお問い合わせは、入国管理局のインフォメーションセンターで受け付けています。

□入国管理局 インフォメーションセンター

問い合わせ受付用メールアドレス info-tokyo@immi-moj.go.jp

●「やさしいにほんご」に訳すとこうなります。

外国人が 仕事で お金を もらう 時、在留資格でできるか できないか 決まります。

あなたの 在留資格で できない 仕事が したい 時、入国管理局へ 行きます。

わからない ことは、入国管理局の インフォメーションセンターで 聞きます。

□入国管理局 インフォメーションセンター

info-tokyo@immi-moj.go.jp

編集後記

普段は意識することなく聞き、書き、話す言葉ですが、言葉を通して見える世界は広く、深いものだとならためて感じ入りました。(M)



▼ HP



▼ facebook

